

授業科目名： 器械運動	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：井手口 学 ・岡崎 秀人・仲宗根 森敦・神門 大輔 担当形態 オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	教員養成に関わる器械運動の実技及び指導法		
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）		
各施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育実技」		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 ・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。 			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>器械運動種目の基礎的な「技」の習得をねらいとする。</p> <p>具体的には「マット運動」、「とび箱運動」、「鉄棒運動」などの種目で習得すべき「技」の基本的技術について実践をとおして獲得することと獲得した技術のさらなる向上を目指す。</p> <p>また、各種目において安全に実施するための方法と幫助についても学修する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>「器械運動」種目である「マット運動」、「とび箱運動」、「鉄棒運動」を取り上げ、それぞれの種目特性を理解しながら、種目における基礎的な「技」を習得するために必要な技術をアクティブラーニングの手法を用いながら学修する。また、安全に実施するために必要な方法についても実践をとおして学修する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：「マット運動」接転技群の学修</p> <p>第2回：「マット運動」はねおき技群の学修</p> <p>第3回：「マット運動」翻転技群の学修</p> <p>第4回：「マット運動」各技群の学修法・指導法・幫助法の学修</p> <p>第5回：「とび箱運動」助走・踏み切りの学修</p> <p>第6回：「とび箱運動」反転とび系の技の学修</p> <p>第7回：「とび箱運動」回転とび系の技の学修</p> <p>第8回：「とび箱運動」各跳越技の学修法・指導法・幫助法の学修</p> <p>第9回：「鉄棒運動」懸垂・支持の概念、「握り」学修。「低鉄棒」回転・支持回転系の技の学修</p> <p>第10回：「鉄棒」回転・支持回転系の技の学修</p> <p>第11回：「鉄棒」懸垂振動系の運動の学修 懸垂振動系の技の学修</p> <p>第12回：「鉄棒運動」の学修法・指導法・幫助法の学修</p>			

第13回：「マット運動」まとめ

第14回：「とび箱運動」まとめ

第15回：「鉄棒運動」まとめ

定期試験

スクーリングでの学修内容

全15回すべての内容を行う。また、随時アクティブラーニングの手法を取り入れていく。

教科書

なし

参考文献

なし

学生に対する評価

実技評価（80%）、スクーリング評価（20%）を総合して評価する